平成26年度当初予算　予算要求シート

整理番号	212 － 036	マスタープラン 3つの挑戦	子育て	マスタープラン 施策番号	3 － 1 － － －	局・課名	中区役所　中保健センター
区分	その他一般施策						

（単位　千円）

事業名	妊産婦・乳幼児等の保健指導事業(中区)
関連事業	乳児家庭全戸訪問事業 妊産婦・乳幼児等の保健指導事業(本庁)

	平成24年度決算額	平成25年度予算額	平成26年度要求額
事業費	157	192	193
事業期間	H ～ H	全体事業費	

事業目的

妊娠期から適切な保健指導を行い、妊産婦や乳幼児の健康を保持増進する。

今年度要求のポイント

妊娠期から支援の必要な家庭を早期に把握し、適切な保健指導を引き続き継続する。
子育てしやすい環境づくりのため、妊婦教室等を継続して実施する。
妊婦や子どもの年齢に応じた適切な情報提供や健康教育を継続する。
虐待につながる望まない妊娠を予防するため、地域や学校と連携した思春期保健指導や健康教育を拡充する。

事業内容

・訪問、電話、面接を通した保健指導（妊娠届け出時の保健師等による全数面接、乳幼児健診時の育児相談、子どもの歯相談室、保護者からの育児相談への対応や要支援者への支援など）
・集団指導（妊婦教室、離乳食講習会、乳幼児健診時の集団指導など）
・地域での仲間づくり（赤ちゃん広場、多胎児のサークルなど）
・「妊産婦にやさしい環境づくり」の一環として、マタニティマークの普及啓発
・虐待につながる望まない妊娠を予防するため、地域や学校と連携した思春期保健指導や健康教育

主な要求内容

（単位：千円）

項目	25年度予算	26年度要求額	内容・積算等
需用費（消耗品費）	129	129	調理材料費（妊婦食・離乳食）
役務費（通信運搬費）	63	64	郵送料
合計	192	193	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過(～25年度)】
昭和20年代から妊産婦乳児の健康管理を行っている。平成21年度からは妊娠届時の全数面接を開始。また、乳児家庭全戸訪問事業により支援が必要な家庭を早期から把握し、支援につなげている。平成25年4月から妊婦・乳幼児のいる転入家庭に対して面接を実施。

【26年度】
妊娠期からの保健指導の継続実施。
地域や学校と連携した保健指導や健康教育の継続実施。

【今後(27年度～)】
事業の継続実施

その他　特記事項